

令和 7 年 3 月 吉日

世田谷区立桜小学校
校長 大曾根 博美 様

世田谷区立桜小学校
学校評価委員会

令和 6 年度 学校関係者評価報告書

＜学校関係者評価委員＞

委員長： 下山裕介

委員： 天野健太郎， 須藤美子， 西野紀子， 山田和美（五十音順）

＜学校関係者評価委員活動＞

令和6年 9月：第1回評価委員会（独自項目の決定）

令和6年 10月：学校評価アンケート 実施

令和6年 12月：学校評価アンケート 結果集計

令和7年 1月：教員との面談

令和7年 3月：学校関係者評価報告書 作成・提出

＜学校関係者アンケート集計結果分析＞

児童共通評価項目

○ 学習について

- ・ 「学ぶことが楽しい」に対して、「とても思う」と回答した児童は30%であり、「あまり思わない・思わない」は約20%であり、約半数が肯定的な回答であった。
- ・ 「先生は課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中でとっている」に対して、90%以上が肯定的な回答であった。
- ・ 「先生は映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている」に対して、80%以上が肯定的な回答であり、「とても思う」と回答した児童は60%以上であった。

○ 生活指導について

- ・ 「学校の決まりを守った行動をしている」について、「とても思う・思う」の回答が約75%と昨年度より減少傾向であった。
- ・ 児童に対する先生の注意について、肯定的な回答が90%以上あったことから、先生に注意されたことは児童は理解していると思われる。

○ 学校行事について

- ・ 「学校行事が楽しい」については、約90%が肯定的な回答であった。
- ・ 児童の学校行事に対する達成感も高く、児童の意欲を大切にしている先生の考え方・姿勢にも納得している回答がみられた。

○ キャリア教育について

- ・ 「自分の生き方や将来のことについて考える授業がある」について、約75%が「とても思う・思う」と回答しており、昨年度より増加の傾向であった。
- ・ 「目標をもち、その実現に向けて努力している」に対して、「とても思う・思う」と回答した児童は約80%と、昨年度と同等であった。
- ・ 「区立中学校に関する情報が提供されている」に対して、半数近くが「あまり思わない・思わない・分からない」と回答していた。

○ 先生について

- ・ 「先生たちは、ていねいに指導してくれる」に対して、95%以上の児童が「とても思う・思う」と回答していた。
- ・ 「先生に相談できる」には、60%以上の児童が「とても思う・思う」と回答していた。

○ 全般について

- ・「学校は楽しい」・「学校が好き」に対して、「とても思う・思う」と回答した児童は85%以上であった。
- ・「私は家庭で宿題やeラーニングでの学習をしている」に対して、65%以上が「とても思う・思う」と回答している。
- ・「学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある」に対して、75%以上が「とても思う・思う」と回答している。

○ 学校独自項目について

(主に、児童自らが考えている学校生活、将来に関する10項目を設定した。)

- ・児童自身について、将来の夢や希望、自分のよいところ、友達の良いところをほめることに関する質問に対して、肯定的な回答が多かった。
- ・「近所や地域の方へ自分からあいさつをしている」に対して、75%以上の児童が「とても思う・思う」と回答している。
- ・「わたしは、学校のみんなと協力し合えている」に対して、80%以上の児童が「とても思う・思う」と回答している。

保護者共通評価項目

○ 学習指導について

- ・「児童が考えることや、課題解決を大切にした授業」・「授業における児童が話し合ったり、発表し合ったりする機会」・「映像やタブレットによる分かりやすい授業」に関する質問に対して、75%以上が「とても思う・思う」と回答している。
- ・「黒板の書き方やプリントなどを工夫している」に対して、65%以上が「とても思う・思う」と回答している。

○ 生活指導について

- ・「学校での過ごし方やルールに対する指導」・「教員の指導に対する児童の理解」に関する質問に対して、70%以上の「とても思う・思う」の回答が得られている。

○ 学校行事について

- ・学校行事に対して、児童が楽しさ、達成感を得られていると十分に理解されている。
- ・「学校が子供の意欲を大切にしている」に対して、85%以上が「とても思う・思う」と回答している。

○ キャリア教育について

- ・「児童の目標をもたせること」・「将来について考えることを考慮した授業」に関する質問に対して、肯定的な回答は半数程度と昨年度から減少傾向であった。

○ 先生について

- ・「学校における指導の丁寧さ」・「児童の相談のしやすさ」について、十分に理解が得られている回答であった。

○ 全般について

- ・ 学校生活や教育指導に対する満足度は高いとみられる一方、児童の家庭における自主的な学習に関する質問では、肯定的な回答は半数程度であった。
- ・ 「学び舎」による近隣の教育機関との連携・交流活動について、昨年度より理解は得られている傾向であった。

○ 学校からの情報提供について

- ・ 学校公開や保護者会での児童の様子、ホームページやメールによる情報提供には、理解が得られている回答であった。
- ・ 「学び舎」の区立中学校についての情報提供に関する質問では、肯定的な回答は半数以下であった。

○ 学校運営について

- ・ 学校の重点目標の周知、教育活動の取り組みには、理解が得られている回答であった。

○ 家庭と学校との連携について

- ・ 学校公開へすすんで参加している回答が多かった。
- ・ 「学校行事、PTA・地域主催の行事へすすんで協力している」に対して、「とても思う・思う」の回答は60%以上であった。

○ 地域との連携について

- ・ 地域の人や施設を教育活動に生かしている回答が多かった。
- ・ 「学校が地域活動に協力的である」と85%以上の回答があった。

○ 学校の安全性について

- ・ 「避難訓練やセーフティ教室などで、児童に安全に関する指導をしている」に対して、95%以上の「とても思う・思う」の回答があった。

○ 学校独自項目について

(家庭・地域における児童の様子、コミュニケーションに関する10項目を設定した)

- ・ 「家庭で子どもから学校のできごとを聞いて、日頃からほめるようにしている」・「休日に子供と過ごすようにしている」に対して、95%程度の「とても思う・思う」の回答があった。
- ・ 集団生活で約束を守ること、譲り合うことの大切さを、家庭で十分伝えられている。
- ・ 「プロジェクト桜」に対する把握・理解が少なかった。

地域共通評価項目

○ 生活指導について

- ・ 児童は交通ルールを守って通学していると理解が得られている回答であった。

○ 学校行事について

- ・ 学校行事の充実さは、十分に理解されている。

○ 学校からの情報提供について

- ・ 学校からのお知らせには満足されている傾向であり、「学び舎」の活動に関する情報提供については、肯定的な回答が昨年度より減少傾向であった。
- 学校運営について
 - ・ 「学校の重点目標が明確である」に対して、90%以上が「とても思う・思う」の回答があった。
 - ・ 地域の意見に対する学校の対応に満足されている。
- 地域との連携について
 - ・ 「地域の人や施設を教育活動に活かしている」に対して、90%以上が「とても思う・思う」の回答があった。
 - ・ 学校協議会の役割、学校運営委員会の活動・役割に理解が得られている回答であった。
- 学校の安全性について
 - ・ 安心・安全な学校づくりに十分理解されている回答であった。
- 学校独自項目について
 - (地域と学校・児童とのつながりに関する 5 項目を設定した)
 - ・ 「桜小学校は地域と上手に連携していると思う」に対して、85%以上が「とても思う・思う」と回答があった。
 - ・ 「学校行事に協力したいと思う」・「地域で開催する行事への子供たちの参加が楽しみだ」に対して、90%以上が「とても思う・思う」と回答があった。

自由記述

- ・ 保護者より、子供たちが楽しい学校生活を過ごしていること、学校行事における経験について、学校や先生方へ好意的な記述がみられた。
- ・ 保護者より、スクールカウンセラーのサポートに大変助かっているというご意見があった。
- ・ 地域の方より、桜小学校と地域の繋がりや、様々な行事が活発になったことについて、好意的な回答があった。

＜総括＞

アンケート結果の分析結果から、昨年度と同様に評価委員会として指摘すべき大きな問題はみられなかった。昨年度よりも改善された点として、児童に向けたキャリア教育、保護者に対する「学び舎」による近隣の教育機関との連携・交流活動の情報提供が挙げられる。児童たちが満足して学校生活を過ごしている様子、さらには児童たちの楽しさ・経験に対する保護者の感謝が伝わってくる回答が多くみられた。また、教員の教育活動における工夫について、保護者が理解されていることも伝わってきた。児童は、学校や友達とのつながりを感じており、学校生活・学校行事で協力し合っている様子が感じられた。

先生方との面談では、児童の多様性をしっかり理解し、教育や授業に工夫する積極的な姿勢がみられた。一方で、教員のみでは対処が困難である教育環境において、教員の先生方が苦悩される様子もみられ、学校だけでなく、世田谷区として教育現場の様子を把握した対策が必要である

と感じる事例も情報提供頂いた。

桜小学校の強みである保護者や地域とのつながり・連携が強い特徴を大切にし、本評価報告が児童たちのさらなる充実した学校生活の一助となることを願って報告とする。

以上